



2024年9月1日発行

安全データシート(SDS : Safety Data Sheet)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称、品番 : ALTECO マイティエポ 主剤、QLN76

供給者の会社名称 : 株式会社LIXIL

住所 : 東京都品川区西品川一丁目1番1号

電話番号 : 0120-126-001

項目 2 以降は、2頁以降を参照

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	アルテコ マイティエポ® (W) (主剤)
供給者の会社名	株式会社アルテコ
住所	滋賀県湖南市岩根136-87
担当部門	品質管理部
電話番号	0748-75-3901
ファクシミリ番号	0748-75-1804
電子メールアドレス	hinkan@alteco.co.jp

使用用途及び使用上の制限 : 2液混合型接着剤。主剤単独では接着不可。
指定の比率で硬化剤と混合して使用すること。

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
皮膚感作性	区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性)	区分2
水生環境有害性 長期(慢性)	区分2

上記で記載がない危険有害性は、分類できない、区分に該当しない。

【GHSラベル要素】

絵表示またはシンボル

感嘆符、環境



注意喚起語

警告

危険有害性情報

皮膚及び眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
長期継続的影響によって水生生物に毒性
注意書き
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
取り扱い後は手をよく洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋(ポリエチレン製)/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
皮膚に付着した場合： 多量の水と石けんで洗うこと。
眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
特別な処置が必要である。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合： 医師の診察/手当を受けること。
目の刺激が続く場合： 医師の診察/手当を受けること。
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
漏出物を回収すること。
内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名又は一般名	: エポキシ樹脂系2液型接着剤

	含有量 (%)	官報公示整理番号 (化審法・労安法)	CAS RN®
① 4-4' イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパン重縮合物(ビスフェノールA型エポキシ樹脂) (労安法該当)	60~70	(7)-1283	25068-38-6

②	ビスフェノールF型エポキシ樹脂 (労安法該当)	10~20	(7)-1285	9003-36-5
③	反応性希釈剤 (PRTR法、労安法、劇毒法に該当しない)	10~20	非公開	非公開

この組成の正確な含有量や成分名等は、営業上の秘密に該当するため、非公開としています。

4. 応急処置

吸入した場合	: 硬化剤との混合物の蒸気を含め、温度上昇時に生じる蒸気を吸入して、かゆみなどの異常が生じた場合は、すみやかに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 付着物をふき取り、中性石けんでよく洗う。かゆみや炎症などの症状が出た場合は、すみやかに医師の診断を受ける。
眼に入った場合	: 多量の水でよく洗う。痛みなどの異常がある場合は、ただちに眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 安静にして医師の診断を受けること。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	: 眼、皮膚を刺激する。
応急処置をする者の保護に必要な注意事項	: 救助者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	: 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 粉末、二酸化炭素(ABC型)
使ってはならない消火剤	: 棒状注水
特有の消火方法	: ガスの滞留しない場所で風上より消火し、漏洩防止処置を施す。危険でなければ火災区域から容器を移動する
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防処置	: 消火作業の際には保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置	: 漏出した場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。暴露防止の為、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。
環境に対する注意事項	: 流出した商品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸収させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。 : 多量の場合は、土砂等の不燃物で囲って流出を防止し、漏出した物をすくい取り、空容器に回収し、密閉する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 局所排気装置等を設け、通気の良い場所で作業する。 : 保護眼鏡、防毒マスク、不浸透性手袋等の保護具を着用する。 : 直接手で取り扱うような作業方法は絶対に避ける。 : 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
安全取扱い注意事項	: 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は、全体換気を適正に行う事が望ましい。
保管	
安全な保管条件	: 容器を密閉し、直射日光の当たらない5~35℃の乾燥した場所で保管する。その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定める事に従う。
安全な容器包装材料	: 消防法及び国運輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等	: 設定されていない。
管理濃度	: 設定されていない
設備対策	: 混合、注入、塗布、接着工程などの作業場には、局所排気装置(加熱工程の蒸気発散源には、ブース式又は囲い式フード)を設置する。
保護具	
呼吸用保護具	: 防毒マスク。

手の保護具	: ゴム手袋など不浸透性の手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	: 側板付き普通メガネ、ゴーグル型メガネなどを必ず着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 長靴、前掛け、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液状
色	: 黄色～茶色
臭い	: 軽度 (エポキシ臭)
融点/凝固点	: 知見なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 知見なし
可燃性	: 知見なし
爆発下限界および爆発上限界/	: 知見なし
可燃限界	
引火点	: >100℃ (密閉式引火点試験、文献) 218℃以上 (開放式、消防法試験)
自然発火点	: 知見なし
分解温度	: 知見なし
pH	: 知見なし
動粘性率	: 知見なし
溶解度(水)	: 不溶性
オクタール/水分配係数	: 知見なし
蒸気圧	: 知見なし
密度及び/又は相対密度	: 知見なし
相対ガス密度	: 知見なし
粒子特性	: 知見なし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 硬化剤との混合時に、急激な重合発熱反応をおこす可能性がある。
化学的安定性	: 通常の取扱いにおいては安定。 但し、高温・高湿な場所での取扱い・保管は避ける。
危険有害反応可能性	: 強酸化剤、強酸、強アルカリ、アミンと反応
避けるべき条件	: 高温、多湿
混触危険物質	: 強酸化剤、強酸、強アルカリ、硬化剤 (アミン等)
危険有害な分解生成物	: アルデヒド、酸、有機物

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 知見なし
急性毒性(経皮)	: 知見なし
急性毒性(吸入: 蒸気)	: 知見なし
皮膚腐食性/刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷性/	: 区分2B
眼刺激性	
呼吸器感作性	: 知見なし
皮膚感作性	: 区分1
生殖細胞変異原性	: 知見なし
発がん性	: 知見なし
生殖毒性	: 知見なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 知見なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 知見なし
誤えん有害性	: 知見なし

(注) 知見なしは、NITEの混合物データベースより事業者判断

12. 環境影響情報

生体毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	: 区分2
水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分2
残留性・分解性	: 知見なし
生体蓄積性	: 知見なし
土壌中の移動性	: 知見なし

オゾン層への有害性 : 知見なし モントリオール議定書の付属書に列記された成分を含まない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、必須かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

- ① 都道府県条例等に基づき焼却するか、又は、産業廃棄物として許可を受けた処理業者に委託する。使用済みのウエス等も同様である。
- ② 硬化剤と混合し、硬化させた物は、廃プラスチック類として許可を受けた処理業者に委託する。
- ③ 空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去しておく。

14. 輸送上の注意

国連分類 : クラス9 有害性物質
 国連番号 : 3082 包装等級III
 注意事項 : 容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。火性液体に関する一般的な注意事項に従うこと。火気厳禁とする。

国内規則

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法に定められている運送方法に従う。
 海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
 航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

消防法

危険物第4類第4石油類 危険等級III (非水溶性液体) (6000L)

労働基準法

労災認定物質 (ビスフェノールA、F型液状エポキシ樹脂)

労働安全衛生法

既存変異原化学物質 (通達による指導物質)
 ビスフェノールA、F型液状エポキシ樹脂

労働安全衛生規則

第594条の2 皮膚等障害化学物質

化学物質管理促進法 (PRTR法)

該当しない

海洋汚染防止法

有害液体物質X類物質 ビスフェノールA、F型液状エポキシ樹脂

化審法

優先評価化学物質 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂

16. その他の情報

日本接着剤工業会自主規制 JAIA 001770 F☆☆☆☆
 JAIA 503020 4VOC基準適合

引用文献

- ・ 独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) GHS 分類判定ラベル/SDS 作成支援システム (VER2.0.13)
- ・ 接着剤の製品安全データシート作成の手引き (日本接着剤工業会)
- ・ 化学物質による健康障害を防止する為の手引き (日本化学工業協会)
- ・ 製品安全データシートの作成指針 (改訂版) (日本規格協会)

その他

- ・ 記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。又、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。
- ・ 全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さるようお願いいたします。
- ・ この情報は新しい知見及び試験、法令の改正などにより改正される事があります。
- ・ 以前に取得された本製品の安全データシートをお持ちの場合は、すみやかに破棄してください。